

- 1 さくら一番館
よってたも～れさくら一番館
グループホーム悠々
ゆめみぐさ
- 2 福祉の杜 名東館
介護さくら名東
障がい福祉サービスさくら
ポコッチェリ
セレソ
子ども発達サポートケルス
- 3 よってたも～れ・ひょうたん山
心結(ここな)
ゆめみぐさ・ひょうたん山
- 4 介護サービスさくら砂田橋
障がい福祉サービスさくら
子ども発達サポートケルス砂田橋
- 5 よってたも～れ熱田(2F)
杜の仲間たち熱田(1F)
- 6 名東福祉会館
- 7 中川福祉会館
老人いこいの家
- 8 第2層生活支援
体制整備事業



介護サービスさくら内 職種人数
令和2年9月1日現在

介護福祉士	54
介護職員初任者研修	104
介護職員実務者研修	9
正看護師	8
准看護師	8
福祉有償運送運転講習	16
介護支援専門員	9
理学療法士	2
作業療法士	2
認定特定行為業務従事者	2
小規模計画作成担当研修修了者	5
認知症対応型サービス 事業管理者修了者	7
保育士幼稚園小学中学養護教諭	8
児童発達支援管理責任者研修修了者	1
認知症介護実践者研修修了者	14

特定非営利活動法人(NPO法人)
介護サービスさくら

介護サービスさくら

- ◆さくら一番館 (☎052-788-2390)
 - ・よってたも～れさくら一番館 (小規模多機能型居宅介護)
 - ・グループホーム悠々 (認知症対応型共同生活介護)
 - ・ゆめみぐさ (サービス付高齢者向け住宅)
 - ・杜の仲間たちさくら一番館 (ミニデイ)
 - ・居住支援法人 (不動産とのマッチング・見守り等)
- ◆さくら名東館 (☎052-709-3683)
 - ・介護さくら名東 (訪問介護)
 - ・子ども発達サポートケルス (放課後等デイサービス)
 - ・相談支援ポコッチェリ (障害者相談支援)
 - ・セレソ (就労継続支援B型)
 - ・障害福祉サービスさくら (障害者居宅介護、同行援助)
 - ・ガイドヘルプサービス (移動支援)
- ◆熱田 (☎052-883-8555)
 - ・よってたも～れ熱田 (小規模多機能型居宅介護)
 - ・杜の仲間たち熱田 (ミニデイ、サロン、認知症カフェ他)
- ◆ひょうたん山 (☎052-715-4440)
 - ・よってたも～れ・ひょうたん山 (看護小規模多機能型居宅介護)
 - ・訪問看護ステーション心結(ここな)
 - ・ゆめみぐさ・ひょうたん山 (住宅型有料老人ホーム)
- ◆砂田橋事業所 (☎052-725-3105)
 - ・介護サービスさくら砂田橋事業所 (訪問介護・障害者居宅介護・移動支援)
 - ・子ども発達サポートケルス砂田橋 (放課後等デイサービス)
- ◆第2層生活支援体制整備事業 (☎0561-75-5105)

ご寄付のお願い いつも介護サービスさくらへのご理解、ご協力を賜りありがとうございます。賜りました寄付は、皆様の想いや善意を形にできるよう、今後も取り組んで参ります。随時寄付を募っております。介護サービスさくらの活動にご賛同いただける方は、同封の振込用紙にてご寄付を頂けますと幸いです。今後とも、介護サービスさくらをよろしくお願ひ致します。

第235号 令和2年9月号

さくらだより

特定非営利活動法人 介護サービスさくら
名古屋市名東区高針荒田 1011 番地 (TEL) 052-788-2390 (FAX) 052-788-2391
<http://www.kaigo-sakura.com/> <info@kaigo-sakura.com>

ケルン kern プロジェクト、始動！！

ケルン kern プロジェクトとは…
「kern」…ドイツ語で種子種にもいろいろな形がありいろいろな花や実となり…つながっていく…モノ、コト、ヒトが繋がっていく…そんな思いを込めて、作ったロゴです。種は、まいてもすぐには咲きません。でも、まかなければ、咲きません。一つずつ種をまいていけば、いずれ芽が出て、つぼみが付き、花が咲き、きっと実になることでしょう。どう育っていくか どう広がっていくか、お楽しみに！

私たちの活動を通して、参加して、見て、体験していただくことで、ケルンの目指しているものをきっとみなさんそれぞれの視点で感じとっていただけたらと思っています。

たくさんのご寄付をありがとうございました

この度は介護サービスさくらへの活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。みなさまからのご厚意に深く感謝しております。多くのおみなさまにご賛同いただきましたおかげで、さくら一番館に新たなAEDを設置させていただきました。これからもご利用者の皆さま、ご家族、地域の皆さまに貢献できるよう、活動を続けて参る所存です。今後ともどうか末永いお力添えを頂きますようよろしくお願い致します。

寄付者

大和田 恭 様	岸川 富士夫 様
加藤 英明 様	浅井 千代子 様 (順不同)
田中 廸代 様	その他匿名6名様

「グループホーム悠々」(一番館2階)

新型コロナウイルスの影響で外出・面会が制限されているこの頃…。そんな中でもグループホーム悠々はいつも笑顔を忘れません！今回は、グループホーム悠々の日々の皆さんの様子をご紹介します！



昔ながらのアイスクャンデー屋さんに大喜び(*´▽´)



いつも仲良しO様ご夫婦 スイカ割りも一緒に♡



スイカ割りも大盛り上がり♪



旨い



可愛いイラストでユニットを和ませられる画伯(*´▽´*)



どめれっ!



美味しい!



わー！この人、美人さんだねえ



洗面台に お花は欠かせないのよ～！



スタッフが捕獲したキリギリス。「今日も元気にた食べてるかーい？」利用者様の毎日の楽しみのひとつ☑昆虫を追いかけていた幼い頃を思い出さそうです。(^^)



今日はお食事作りの日。お米を研ぐのもお手の物！



両手に花でお散歩中♪



名古屋城までドライブ！いい気分転換になりました♪



「もうすぐお昼ごはんよね？」皆さんフロアに集まって来られました！



かわいい～！ワンちゃんに癒されました



風船バレーのレクリエーション。これが盛り上がるんです！



管理者インタビュー

グループホーム悠々 山内 幸江さん

さくら一番館2階のグループホーム悠々には、いつもゆったりと穏やかな雰囲気が流れています。今回は、そんな雰囲気づくりに力を入れている、グループホーム悠々管理者の山内幸江さんにインタビューしました。

Q.もう入社してから約10年になりますね。このお仕事を選んだきっかけは？

—グループホームは、9人1ユニットと小ぢんまりしていて利用者様一人一人にしっかりと丁寧に向き合えるから、私の介護者としての希望にピッタリだったんです。

Q.利用者様に毎日をどう過ごしてほしいか、なにか目標はあるのですか？

—毎日楽しく穏やかに過ごしてほしい、これに尽きます。わたしたちも毎日皆さんの笑顔が見たいですから。

Q.その目標はグループホーム悠々の雰囲気の良さから、実践できているように思うのですが、秘訣はありますか？

—スタッフ同士の連携と信頼関係の賜物だと思います。穏やかな雰囲気を作り上げるためには、しっかりとした土台(スタッフ)が必要ですから。長い年月がかかりましたが、スタッフ皆が「丁寧に、親切に、慌てなくていいからこの目標に向かおう！」と意識を統一できているからだと思います。



Q.雰囲気づくりとしてどんな工夫をしていますか？

—植物を多く飾ったり、季節ごとにフロアの飾りつけを変えたり、写真など日々の出来事を掲出して、話題をたくさんちりばめたりと、スタッフ主導で色々工夫しています。

Q.では、ご家族の方からグループホーム悠々はどう映っているのでしょうか。

—ご利用者様が病院に入院していても、『さくらに帰りたい』と言われてたり、カドが取れて優しい母になったとご家族様から聞いたり。私たちの想いがご本人様やご家族様に伝わって信頼していただき、さくらを選んで頂いているという実績から、どんなに困難な状況でも受け入れて最後まで側に居よう、悠々ならやっていける！と自信がついてきました。医療の面では病院は安心でしょうが、病院で我慢してただ長く生きるだけが必ずしも幸せと言えるでしょうか。悠々では食べたいものを食べ、したいことをする！という生きがいを優先してあげたいですもん。ご家族のみなさまからしたら、不安や心配が尽きないと思います。でも、さくらはご本人様はもちろん、ご家族にも寄り添っていく自信があります。是非、お任せください！

約10年、試行錯誤を繰り返しながら着実に今のグループホーム悠々を作り上げてきた山内さん。まだまだ改善点は多いというものの、その穏やかな表情の中に利用者様について語る表情に凛々しさと頼もしさが垣間見えました。今後のグループホーム悠々はさらに心強い居場所になりそうです。

人生100年時代、いつまでも

キラキラと輝いていたい！

—— 介護サービスくら 理事長 村居多美子 ——

「介護サービスくら」がスタートして35周年。同時に村居多美子理事長はいよいよ後期高齢者世代へ突入！この節目に、現在の介護サービスくらへと変貌を遂げた過程を紐解きながら、これからの次世代へ向けたサービスくらへの想いも聞いてみました。
〈インタビュアー：村居理事長と共に長年歩んできた脇野氏、次世代の担い手となる副理事長の浅野氏〉



「みんなが幸せに」「みんなが笑顔に」
「笑顔のある職場」これが私の信念。



介護サービスくら 理事長 村居多美子

脇野：とにかく一生懸命突っ走ってきた35年ですよ。いよいよ次の世代へのバトンタッチも見えてくるのですが、副理事長に対して今後のサービスくらに願うことは何でしょうか？

村居：私のほうからこうやってほしい、という想いはないですね。それは次の世代の人が考えながらやっていけばいいと思う。これまでは私が、先が見えない中で手探りでやってきて、今後の道筋は作ってきたつもりだから。あとはヒヤヒヤ、でも期待しながら見守っていききたいな。

私の原点は訪問ヘルパーだったでしょ。無法地帯のような初回訪問の掃除とかね、特に手がかかる部分はまず、私がやってから次回別のヘルパーさんに渡していたの。スタッフに作業をしたらうなら、まず私がやりやすい環境にしてから渡さなきゃ。上下関係はないの。皆、同じ目線で進んでいかなきゃ。私は相談する人もいない、自分で決断しなければいけない中で、失敗しても自分で責任取ればいい！と、とにかく突っ走ってきたけど、私にはそれを受け止めてくれるスタッフが居てくれた。信頼する仲間がいて、仲間も信頼してくれたからこそ、ここまで

「上下関係はないの。皆同じ目線で進んでいかなきゃ。」



脇野氏(以下 脇野)：介護サービスくら35周年を迎えた今、小規模多機能居宅介護・グループホーム・訪問介護・障害福祉サービスなど、今や多様なサービスを提供していますが、そもそもこの仕事を始めることになったきっかけは何だったのでしょうか？

村居理事長(以下 村居)：ズバリ、人が好きだから！特に決定的な出来事と言えば、病気がちなお子さんをお持ちのお友達がいてね。会社を休むたびに、会社の上司から「アテにならない」なんて言われてつらい思いをされているのを聞いて「じゃあ私が預かるよ」と言ってしまったのよね。でも、よく考えてみると知識もないのに病気の子供を預かるなんて無責任なことを言ってしまったなあ…と反省して。それでもっと勉強しなきゃ！と一念発起して愛知県立高等技術専門学校ヘルパー科を受講したの。その時初めて福祉の入り口を覗いたのが、すべての始まりね。とにかく、「働く女性を支援したい！」という気持ちで進んできたの。

脇野：もう本当に根っからの人好きというか。そもそも「人の為」からのスタートだったんですね。いつやって来られたの。ほんとうに、いつも言っているけれど、「うちのスタッフは宝」なの。ずっと一緒にやってきた仲間が次の世代にもつながってきているから、そういう信頼できるスタッフを大切にしながらまた新たな「サービス」を、そして「共生社会」を作り上げていってほしいですね。



世代を超えた交流はこの頃には既にスタート

脇野：村居理事長のこの想いを聞いて副理事長の浅野さん、いかがですか？

副理事長 浅野氏(以下浅野)：この三、四年はすごく必死でやってきました。でも理事長と同じことはできないとは思っています。理事長は「開墾してきた世代」私は「地固めをしていく世代」として、私も次の35年を経て次の世代へつないでいきたいですね。同じことをやろうと思うとプレッシャーになってしまうので(笑)。「私は私」で行こうと。初代が培ってきた理念は変えずにどう発展させていくか、それが私の課題です。

脇野さんは、ずっと理事長の側で走って来られましたよね。ちょうど中間の1.5世代代表として今後のサービスくらをどう思いますか？

脇野：当時子育て真っ最中だった家庭の状況にも配慮していただき、村居さんのおかげでここまでやってこれたんです。村居さんの想いが詰まったサービスくらを大切に守りながら、これまでのように次の世代

も人の味方、働く女性の立場になって考えてくださる姿勢は変わってないですよ。

村居：そう。「みんなが幸せに」「みんなが笑顔に」「笑顔のある職場」これが私の信念だから。

脇野：では、そんな現在のサービスくらをカタチ作る、影響を与えた経験はありますか？

村居：最初は西山商店街で細々とスタートしたんだけど、商店街の夏祭りのイベントでいろんな企画をしたの！餅つきや流しそうめん大会やマジックなど…。イベントをすることで世代を超えた人々が集まって地域の皆さんとのふれあいが生まれる。これって、本当に素晴らしいなと感動したの。こういうきっかけが地域のつながりになって、支え合いの気持ちも生まれてくるものだからね。

脇野：ここも昔から変わってませんよね(笑)。いろんな事業所で季節ごとのイベントはいつも力を入れていますしね。地域の皆さんを巻き込んでウエルカムの姿勢で。今は新型コロナウイルス感染防止の為にイベントが縮小・中止になっているものもあります。：。そうだ、イベントの様子をいつも一生懸命カメラに収めていますよね？

村居：そうそう(笑)。皆さん本当にいい笑顔をされるし、いろんな方とこの楽しい雰囲気分かち合いたいから。好きな言葉は「常に挑戦・一生懸命」って言うくらい。これだけじゃなくて、ゴルフや仕事、ダンス、何にしてもとにかく一生懸命やらなきゃ気が済まないのよ(笑)。



子育て世代を支援する「おやこ広場」の活動も。

に協力していききたいと思っています！

では村居さん、いよいよ後期高齢者の仲間入りとなりましたが今後の目標は？

村居：人生100年時代、サービスくらのスタッフたちと共に歩みつつ、足腰と脳を鍛えながら、生涯サービスくらの一スタッフであり続けたいですね！100歳でダンスを踊っている私を見てほしいです！笑

お話を聞いていて、一番印象に残ったのは「とにかく人が好き！」「みんなが幸せになってほしい」という溢れる気持ち。皆が良い状態で幸せになれば…と欲のない純粋な想いが伝わってきます。その想いを叶えるためにパワフルに努力し続ける村居理事長の精神は、これからもサービスくらにいい影響を与え続けてくれるでしょう。これからも介護サービスくらにご期待ください！



西山商店街時代、餅つき大会にて。長い行列ができました。